

月刊

あなたにこの本を！

平成 21 年

12

月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。



…字が大きめ

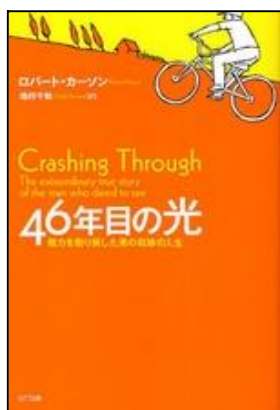


…中高生にも



…図・写真が多い

※価格のあとの()内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。

**46 年目の光** —視力を取り戻した男の奇跡の人生—

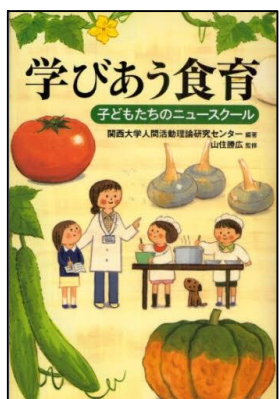
ロバート・カーソン 著

池村千秋 訳

NTT 出版 1995 円 (0011909175)

ジャンル：生き方・考え方に学ぶ

3歳で失明するが、リスクの高い手術を受け 46 歳で視力を回復した男の半生記。手術後、色彩や形、動くものは見えるが、彼の脳にはものの識別に不可欠なネットワークが形成されておらず、人の顔や文字などが見分けられない。彼は独自の方法で識別を試みる。持ち前のチャレンジ精神で、前向きに挑戦し続ける姿は力強く、大きな勇気を与えてくれる。ものを見るための脳の役割についても、図や写真をまじえてやさしく解説されており興味深い。〔B メイ〕

**学びあう食育** —子どもたちのニュースクール—

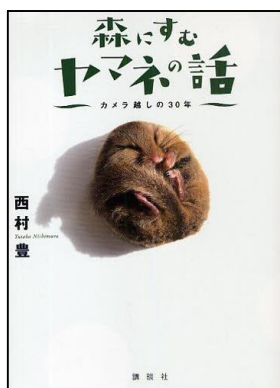
関西大学人間活動理論研究センター 編著

山住勝広 監修

中央公論新社 2625 円 (0011914961)

ジャンル：子どもの成長のために

関西大学で 2005 年度から実施されているプロジェクト「ニュースクール」の約 5 年間の活動を報告する。この活動は、小学生、教職志望の大学生を対象とし、生産者や食の専門家の協力を得て行われた。個人農家での植え付けや収穫といった農業体験、そして独創的なレシピ作りや料理対決にも取り組む。写真や参加者の声が多く盛り込まれ、立場の違いをこえて互いに刺激を受けあう様子が鮮明に伝わってくる。新しい「学び」の可能性がみつけれられる。〔375〕

**森にすむヤマネの話** —カメラ越しの 30 年—

西村 豊 著

講談社 1470 円 (0011925158)

ジャンル：暮らしにうるおいを

ヤマネを撮り続けてきた自然写真家が、撮影にまつわるエピソードをつづる。話題はヤマネだけにとどまらず、撮影フィールドである信州の動植物、山小屋に泊り込んだ青春の思い出や、野生動物の保護の問題にまでひろがる。本文中には白黒写真が多数掲載され、豊かな自然の一部を見ることができる。ある一日の撮影の様子をいきいきと描写したり、キツネとネコの不思議な友情を紹介したり、ほのぼのとした文章からは、著者の温かい人柄が感じられる。〔489〕

吉行あぐり 102 歳のことば

石 寒太 著

ジャンル：生き方・考え方に学ぶ

ホーム社(発行) 集英社(発売) 1260 円 (0011893879)

作家の吉行淳之介と理恵、女優の和子を育てた吉行あぐりの人生を、和子から資料を託された著者が伝える。老い方、仕事、夫婦、子どもなどについて、あぐりの言葉をあげ、その背景にあるエピソードを紹介。俳人ならではの味わいのある文章で、小説の一場面のように描いていく。女性が仕事を持つのが珍しかった昭和初期に美容師として働き、戦争や家族との死別などを経験してきた彼女の残した言葉の一つ一つからは、人生の深い教訓が読み取れる。〔Bヨシュ〕

「ホームレス」襲撃事件と子どもたち ―いじめの連鎖を断つために―

北村年子 著

ジャンル：子どもの成長のために

太郎次郎社エディタス 2310円 (0011898958)

子どもたちによる「ホームレス」襲撃が続いている。大阪の道頓堀で起こった事件を扱った 12 年前のルポルタージュが、襲撃問題に取り組む川崎市の教育現場での事例などを加えて再刊された。著者は被害者と加害者双方の関係者取材し、当事者の心を探る。そして、ありのままの自分を肯定できない心が、社会の偏見を受けて、より弱い者へのいじめに向かうと示唆する。襲撃を起こさせないための活動も多数紹介。探り出された痛みと希望が胸に迫る。〔368.6〕

日本最初の盲導犬

葉上太郎 著

ジャンル：歴史・文化に親しむ

文藝春秋 1600 円 (0011909256)

戦時下の大阪の街を、さっそうと歩くシェパードがいた。電車の乗降もこなしたという犬の名は千歳。戦闘で失明した軍人の社会復帰にと、育成が試みられた和製盲導犬だ。本書は、1939 年に輸入された盲導犬 4 頭を含む、日本史上初めて登場した盲導犬の活躍を描く。当時の使用者や関係者が、いかに彼らの存在に勇気づけられたかがうかがえ、胸が熱くなる。戦争が関係者全ての人生を翻弄(ほんろう)する様も記され、その残酷さに憤りを覚えずにはいられない。〔369.27〕

日本イタリア料理事始め ―堀川春子の90年―

土田美登世 著

ジャンル：生き方・考え方に学ぶ

小学館 1575 円 (0011914338)

通訳官付きの家政婦として戦前にイタリアへ渡り、帰国後は、現地で覚えた料理の普及に情熱を注いだ堀川春子の生涯をつづる。現地の食材が入手できなかった昭和の日本で、いかに調理の工夫をし、その味を伝えたのかが描かれ、苦心の様がうかがえる。イタリア人に慕われ、料理界の後進育成にも尽力した彼女の姿からは、国境を越えて活躍した日本人女性のバイタリティーを感じる。巻末に「春子さんのレシポノート」を掲載。本場の味を試してみたいくなる。〔596.2〕

ニッポンの観覧車 ―いちアトラクションから、街のランドマークへ―



福井優子 監修・文

ジャンル：暮らしにうるおいを

イカロス出版 1680円 (0011916557)

公園にある小さなものから、ビルと一体化した巨大なものまで、日本では現在約 150 基の観覧車が稼働している。本書はその内の 20 基を厳選し、それぞれの魅力あふれる姿を数々のカラー写真で紹介。車体や内装、眺望等について解説する。連続写真で見るイルミネーションの輝きは美しく、スタッフの明るい笑顔は、観覧車の印象に温もりと懐かしさを与えている。眺めるだけでなく、思わず乗りに行ってみたいくなる。全国所在地ガイド付き。〔688〕